

サービス産業活動図表集

2020年6月の第3次産業活動指数の状況

2020 年 8 月 14 日

URL:<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sanzi/result-1.html>

2020年6月の第3次産業活動指数の状況

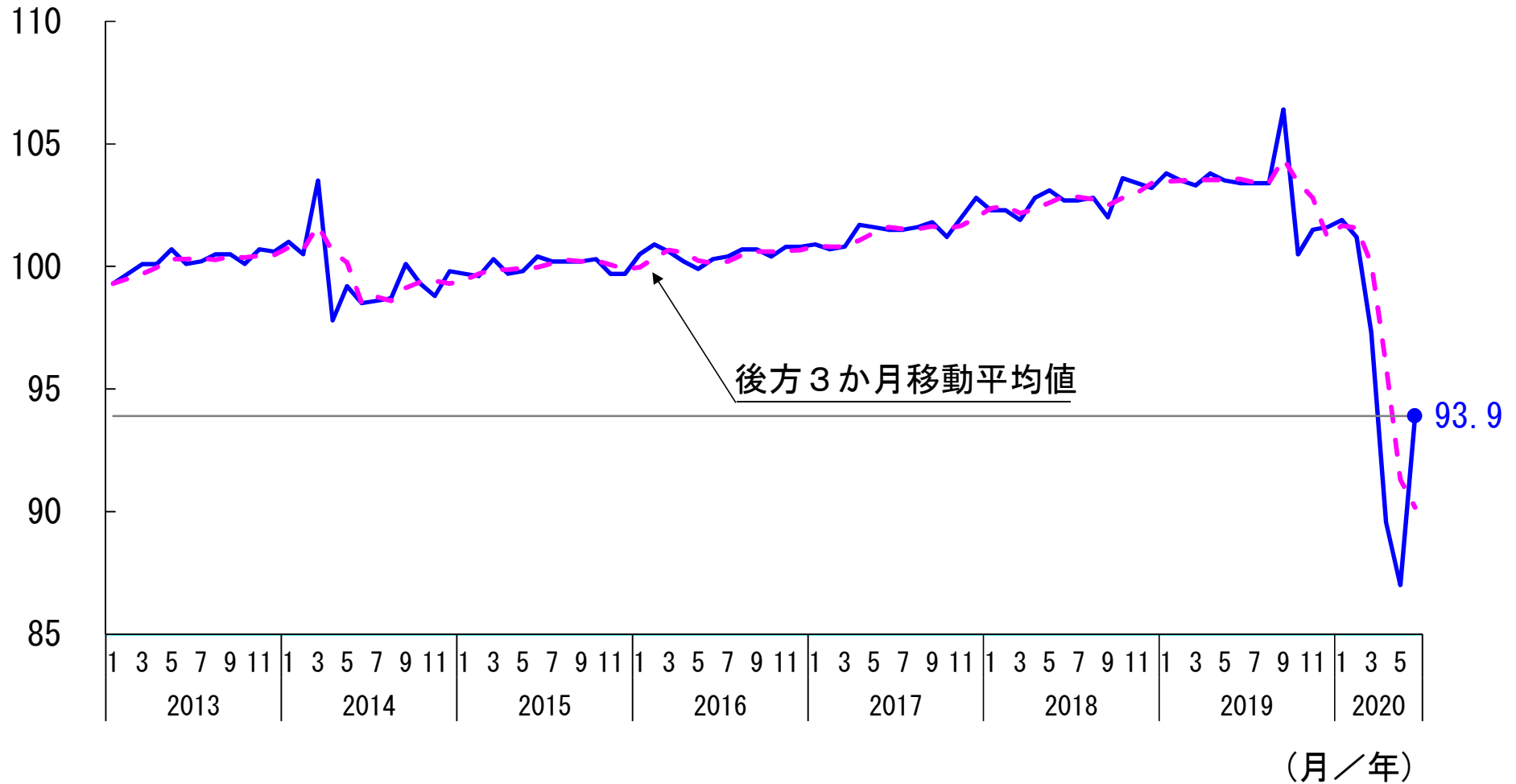
月次	第3次産業総合		広義対個人サービス		広義対事業所サービス	
季調済指数	93.9		92.3		95.5	
前月比	7.9%		12.3%		5.1%	
指数水準	2020.3	97.3以来	2020.3	93.8以来	2020.3	100.8以来
	I 2019.9	106.4	I 2019.9	106.0	I 2019.9	108.0
	II 2019.1, 4	103.8	II 2014.3	103.1	II 2019.4	105.0
	III 2018.10	103.6	III 2019.1	102.9	III 2019.5, 7, 8	104.7
前月比の動き	5か月ぶり+ (2020.1以来)		5か月ぶり+ (2020.1以来)		5か月ぶり+ (2020.1以来)	
前月比幅	2015年基準最高水準		2015年基準最高水準		2015年基準最高水準	
	I 2020.6	7.9%	I 2020.6	12.3%	I 2020.6	5.1%
	II 2014.3	3.0%	II 2014.3	3.5%	II 2019.9	3.2%
	III 2019.9	2.9%	III 2019.9	3.1%	III 2014.3	2.8%
原指数	93.7		90.7		96.5	
前年同月比	-8.6%		-9.9%		-7.3%	
前年同月比の動き	9か月連続- (2019.10～当月)		9か月連続- (2019.10～当月)		9か月連続- (2019.10～当月)	
前年同月比幅	2020.5	-16.8%以来	2020.5	-20.0%以来	2020.5	-13.7%以来
	①2020.5	-16.8%	①2020.5	-20.0%	①2020.5	-13.7%
	②2020.4	-13.4%	②2020.4	-18.6%	②2020.4	-8.5%
	③2020.6	-8.6%	③2020.6	-9.9%	③2020.6	-7.3%

1) I～Ⅲは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

第3次産業活動指数の動向

・ 2020年6月の第3次産業活動指数は、93.9(前月比7.9%)と5か月ぶりの上昇。

(2015年=100、季節調整済)



2020年6月

「第3次産業活動は、底打ちの動き」

基調判断の推移

- ・ 2015年12月～2016年3月
「一進一退ながら一部に弱さがみられる」
- ・ 2016年4月～10月 「一進一退」
- ・ 2016年11月～2017年4月 「横ばい」
- ・ 2017年5月～7月 「持ち直しの動きがみられる」
- ・ 2017年8月～10月 「高い水準で横ばい」
- ・ 2017年11月～2018年2月 「持ち直しの動きがみられる」
- ・ 2018年3月 「一部に弱さがみられる」
- ・ 2018年4月～8月 「持ち直しの動きがみられる」
- ・ 2018年9月 「足踏みがみられる」
- ・ 2018年10月～2019年2月 「持ち直しの動きがみられる」
- ・ 2019年3月～6月
「持ち直しの動きにあるが、一部に弱さがみられる」
- ・ 2019年7月 「高い水準で横ばい」
- ・ 2019年8月、9月 「持ち直しの動きがみられる」
- ・ 2019年10月～2020年1月 「足踏みがみられる」
- ・ 2020年2月 「足踏みのなかに弱さがみられる」
- ・ 2020年3月、4月 「急落している」
- ・ 2020年5月 「引き続き低落している」

- ・ 2020年6月～ 「底打ちの動き」

(2015年=100、季節調整済)

		第3次産業 総合	
			前期比 (%)
2017年	Ⅲ期	101.6	0.0
	Ⅳ期	102.0	0.4
2018年	Ⅰ期	102.2	0.2
	Ⅱ期	102.9	0.7
	Ⅲ期	102.5	-0.4
	Ⅳ期	103.4	0.9
2019年	Ⅰ期	103.5	0.1
	Ⅱ期	103.6	0.1
	Ⅲ期	104.4	0.8
	Ⅳ期	101.2	-3.1
2020年	Ⅰ期	100.1	-1.1
	Ⅱ期	90.2	-9.9

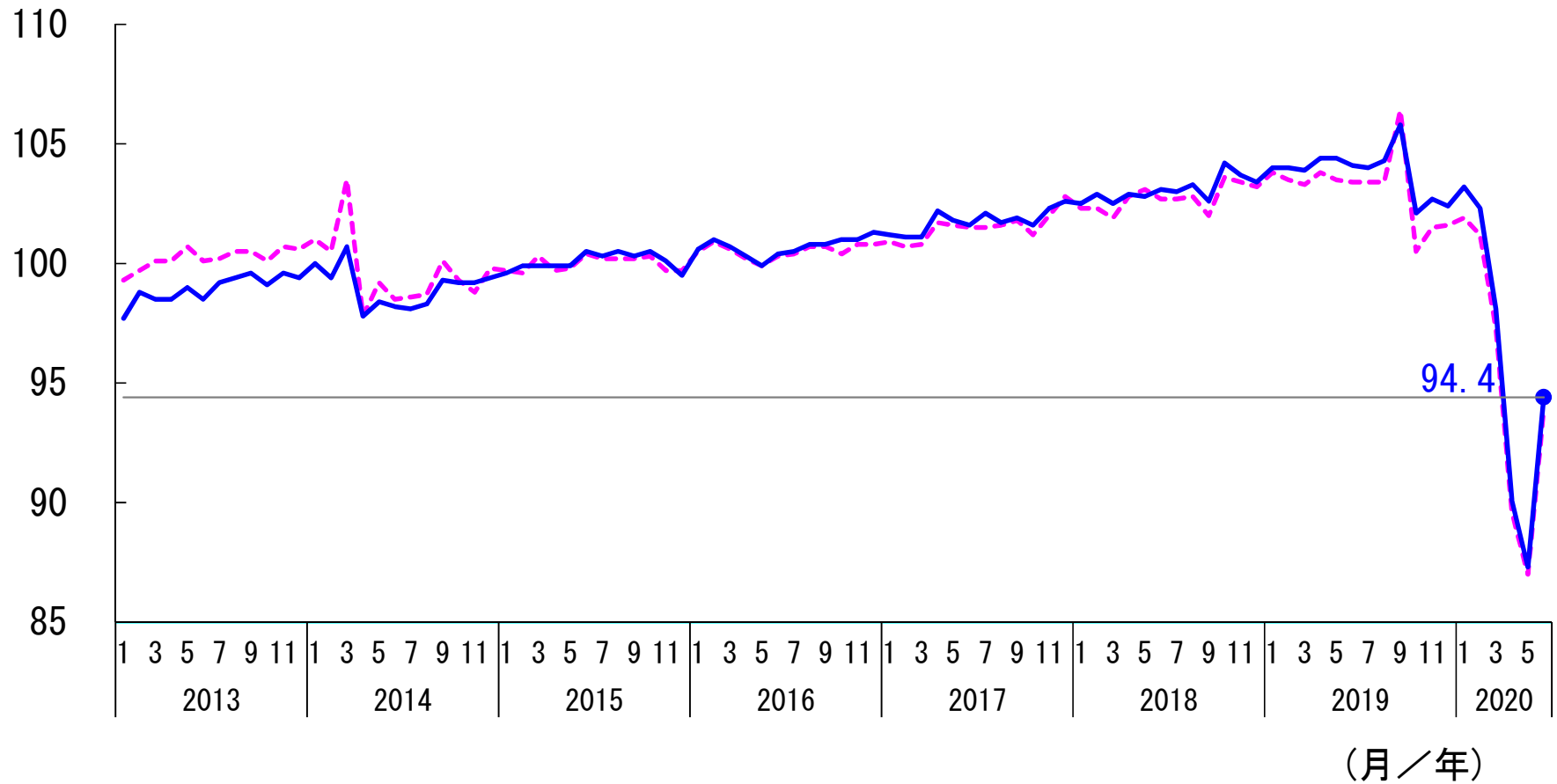
		第3次産業 総合		後方3か月 移動平均	
			前月比 (%)		前月比 (%)
2017年	7月	101.5	0.0	101.5	-0.1
	8月	101.6	0.1	101.5	0.0
2018年	9月	101.8	0.2	101.6	0.1
	10月	101.2	-0.6	101.5	-0.1
	11月	102.0	0.8	101.7	0.2
	12月	102.8	0.8	102.0	0.3
2019年	1月	102.3	-0.5	102.4	0.4
	2月	102.3	0.0	102.5	0.1
	3月	101.9	-0.4	102.2	-0.3
	4月	102.8	0.9	102.3	0.1
	5月	103.1	0.3	102.6	0.3
	6月	102.7	-0.4	102.9	0.3
	7月	102.7	0.0	102.8	-0.1
	8月	102.8	0.1	102.7	-0.1
	9月	102.0	-0.8	102.5	-0.2
	10月	103.6	1.6	102.8	0.3
	11月	103.4	-0.2	103.0	0.2
	12月	103.2	-0.2	103.4	0.4
2020年	1月	103.8	0.6	103.5	0.1
	2月	103.5	-0.3	103.5	0.0
	3月	103.3	-0.2	103.5	0.0
	4月	103.8	0.5	103.5	0.0
	5月	103.5	-0.3	103.5	0.0
	6月	103.4	-0.1	103.6	0.1
	7月	103.4	0.0	103.4	-0.2
	8月	103.4	0.0	103.4	0.0
	9月	106.4	2.9	104.4	1.0
	10月	100.5	-5.5	103.4	-1.0
	11月	101.5	1.0	102.8	-0.6
	12月	101.6	0.1	101.2	-1.6
2020年	1月	101.9	0.3	101.7	0.5
	2月	101.2	-0.7	101.6	-0.1
	3月	97.3	-3.9	100.1	-1.5
	4月	89.6	-7.9	96.0	-4.1
	5月	87.0	-2.9	91.3	-4.9
	6月	93.9	7.9	90.2	-1.2

卸売業、小売業を除いた第3次産業活動指数

・ 2020年6月の卸売業、小売業を除いた第3次産業活動指数は、94.4(前月比8.1%)と5か月ぶりの上昇。

(2015年=100、季節調整済)

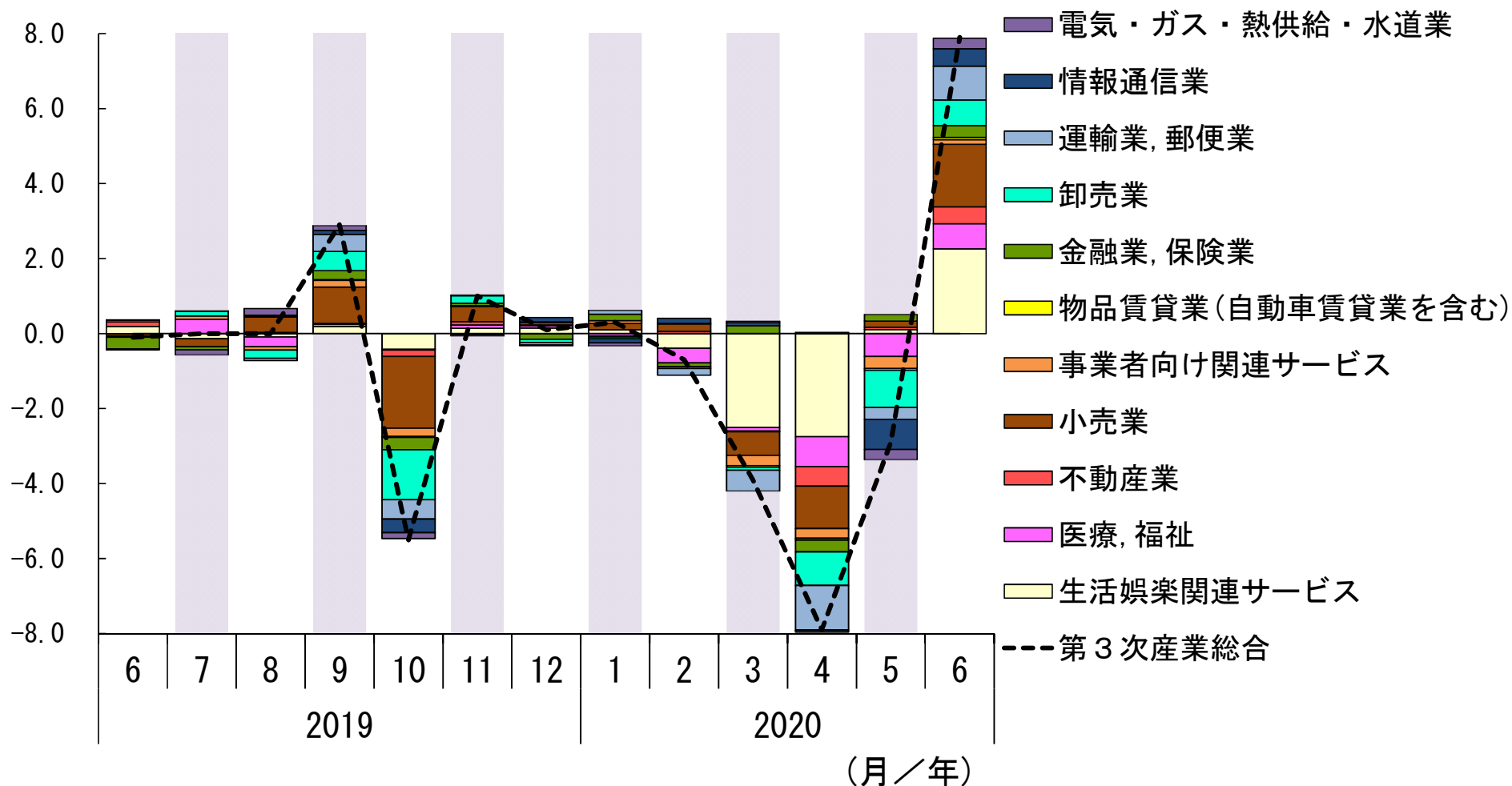
--- 第3次産業総合 — 除く卸売業、小売業



第3次産業活動指数前月比 業種別の影響度合い

・2020年6月の第3次産業活動指数は、生活娯楽関連サービスなどが上昇したため、前月比7.9%の上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



第3次産業活動指数を大きく動かした個別系列

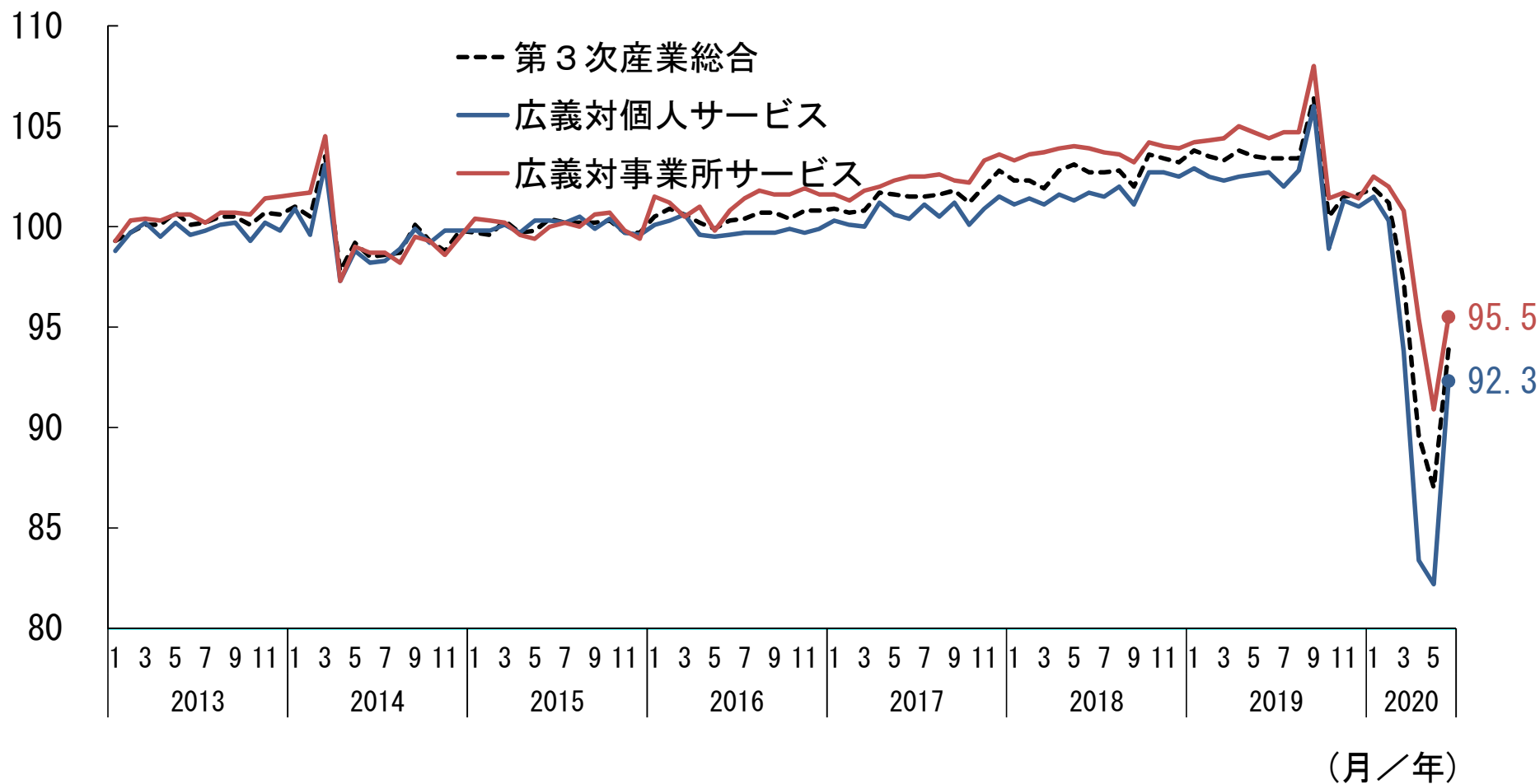
		業種名	前月比	寄与率
○ 第3次産業総合を上昇方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい内訳業種	1位の業種	生活娯楽関連サービス	35.5%	28.5%
	内訳業種	飲食店, 飲食サービス業	49.0%	13.4%
		娯楽業	71.9%	9.2%
	2位の業種	小売業	13.9%	21.1%
	内訳業種	織物・衣服・身の回り品小売業	51.1%	5.6%
		自動車小売業	21.3%	3.2%
3位の業種	運輸業, 郵便業	10.1%	11.4%	
内訳業種	旅客運送業	38.9%	9.1%	
	運輸に附帯するサービス業	19.9%	3.2%	
○ 第3次産業総合を低下方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい内訳業種	1位の業種	—		
	内訳業種			
	2位の業種	—		
	内訳業種			
3位の業種	—			
内訳業種				

寄与率：第3次産業全体の変動に対して影響を及ぼした、各業種の影響の度合い全業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

広義対個人サービス／広義対事業所サービス活動指数の動向

- ・ 2020年6月の広義対個人サービス活動指数は、92.3(前月比12.3%)と5か月ぶりの上昇。
- ・ 広義対事業所サービス活動指数は、95.5(前月比5.1%)と5か月ぶりの上昇。

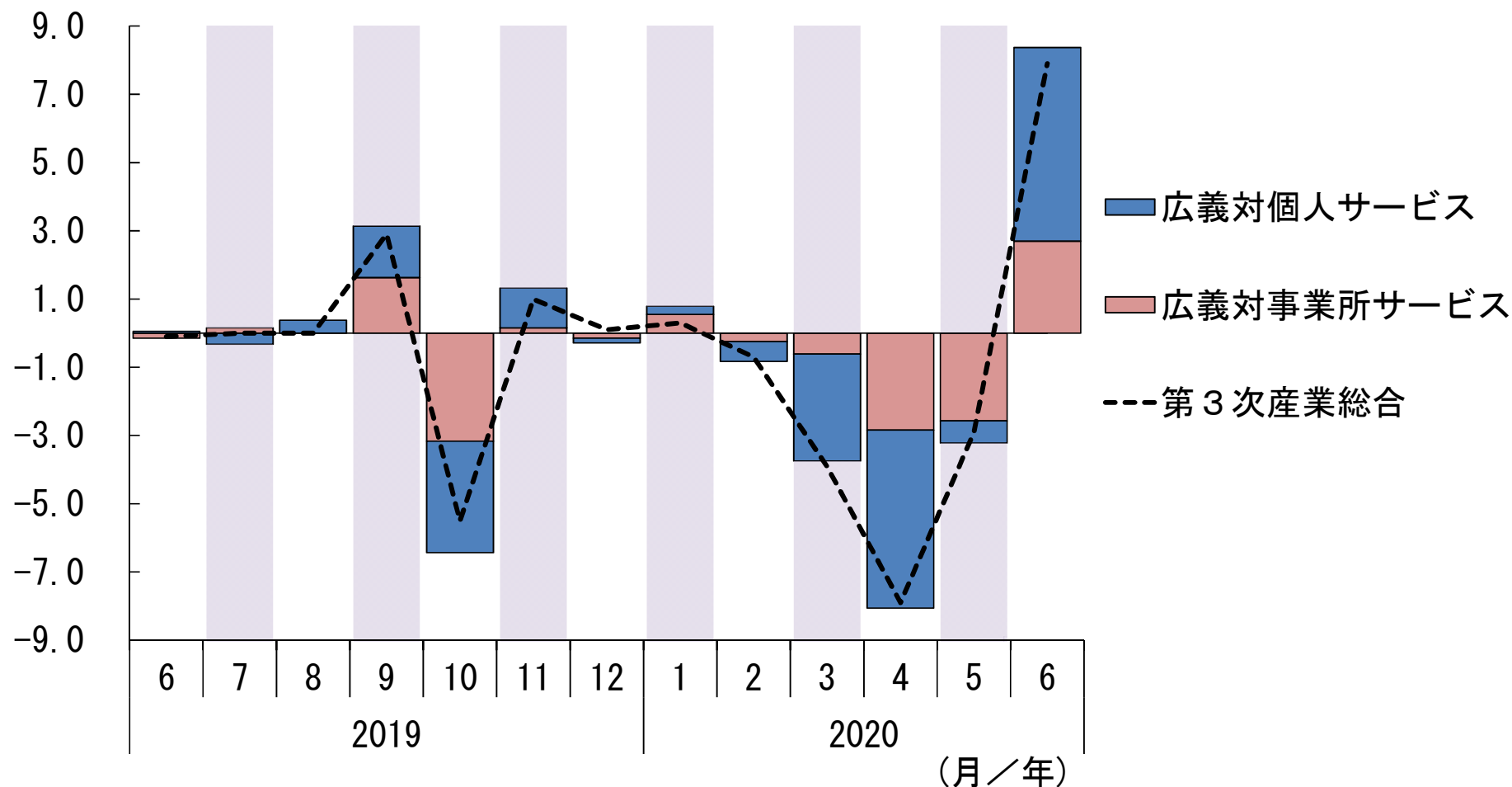
(2015年=100、季節調整済)



第3次産業総合前月比 広義対個人／広義対事業所サービスの影響度合い

- 2020年6月の第3次産業活動指数は、前月比7.9%の上昇。広義対事業所サービス、広義対個人サービスともに上昇。

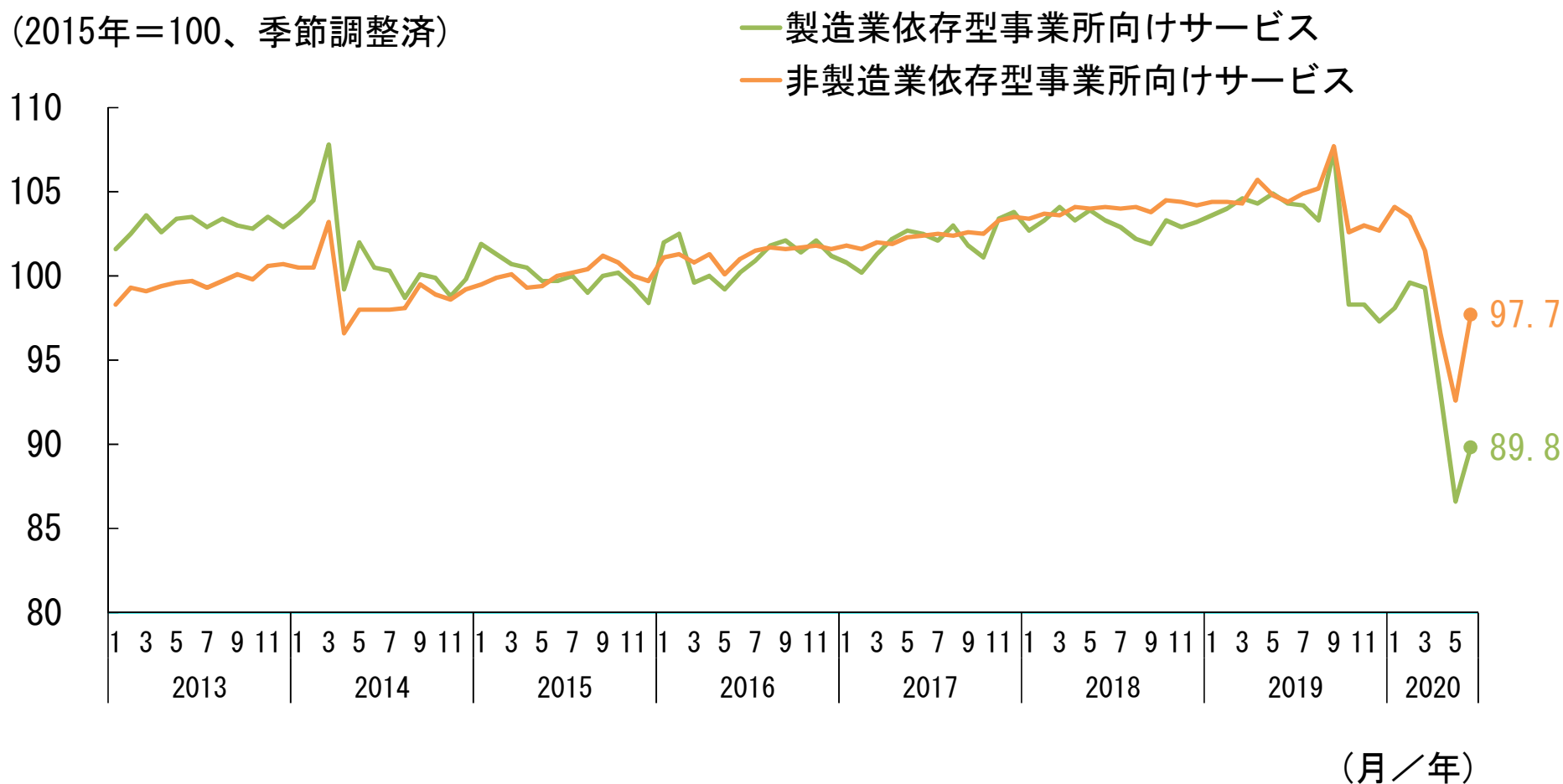
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



製造業／非製造業依存型 事業所向けサービス活動指数の動向

- ・製造業依存型事業所向けサービス活動指数は、89.8(前月比3.7%)と4か月ぶりの上昇。
- ・非製造業依存型事業所向けサービス活動指数は、97.7(前月比5.5%)と5か月ぶりの上昇。

(2015年=100、季節調整済)

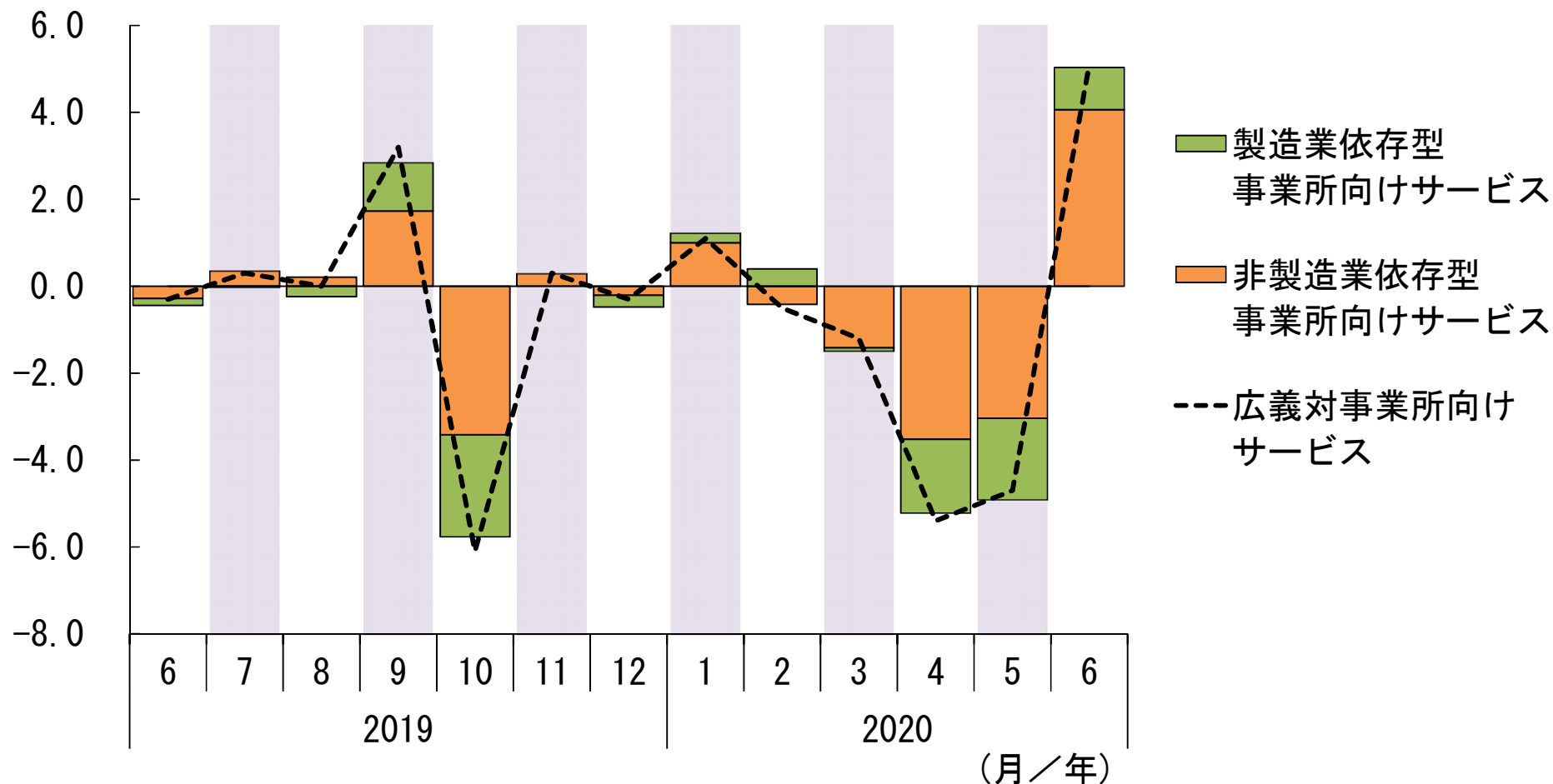


(注) 広義対事業所サービスの内訳系列を、産業連関表の製造業と非製造業の投入比率の大小により、「製造業依存型」と「非製造業依存型」の二つに分類している。

広義対事業所向けサービス活動前月比 製造業／非製造業依存型事業所向けサービス別の影響度合い

- 2020年6月の広義対事業所サービス活動指数は、前月比5.1%の上昇。製造業依存型事業所向けサービス、非製造業依存型事業所向けサービスともに上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

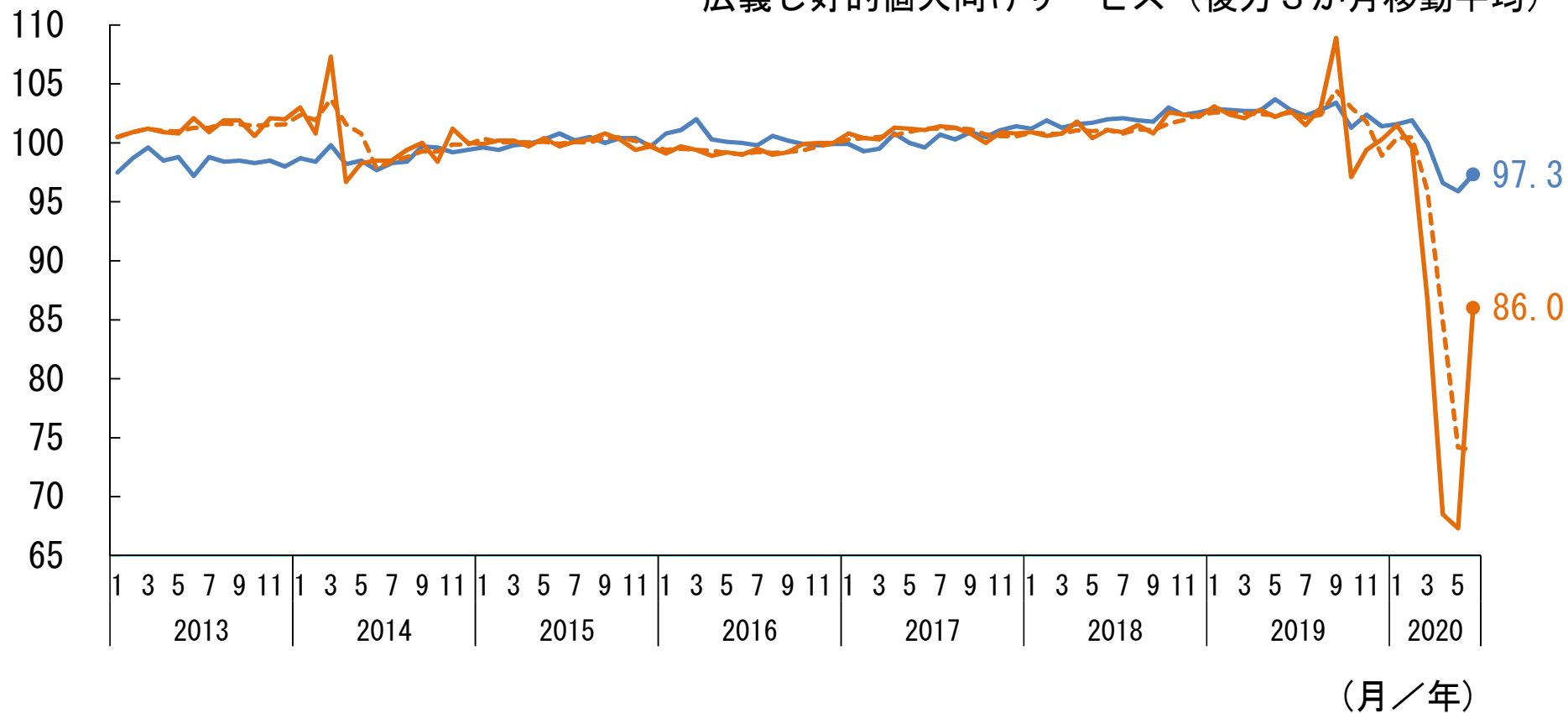


非選択的／し好的 個人向けサービス活動指数の動向

- ・2020年6月の広義非選択的個人向けサービス活動指数は、97.3(前月比1.5%)と4か月ぶりの上昇。
- ・広義し好的個人向けサービス活動指数は、86.0(前月比27.8%)と5か月ぶりの上昇。

(2015年=100、季節調整済)

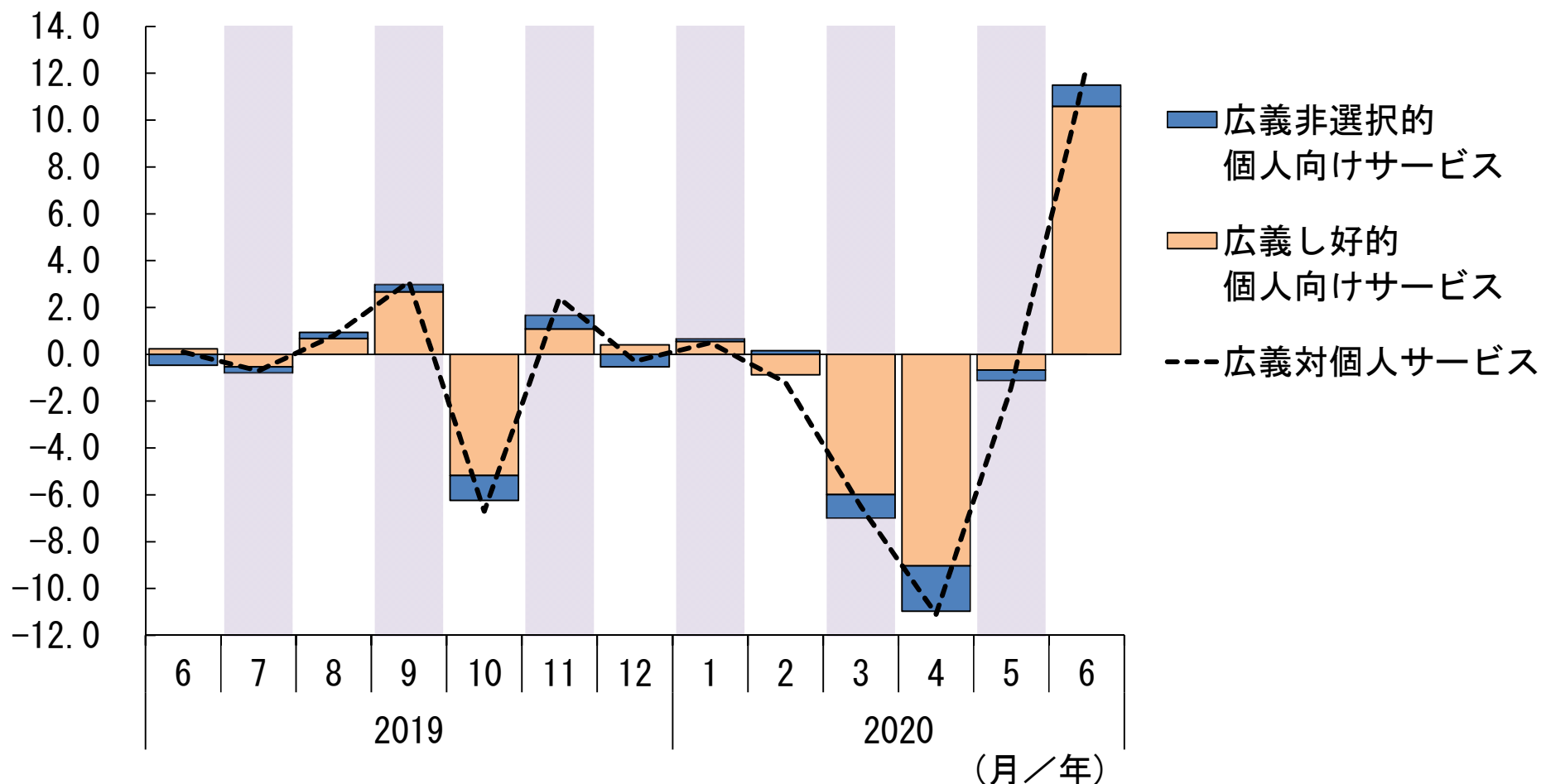
— 広義非選択的個人向けサービス
 — 広義し好的個人向けサービス
 - - - 広義し好的個人向けサービス (後方3か月移動平均)



広義対個人サービス活動前月比 非選択的／し好的個人向けサービス別の影響度合い

- 2020年6月の広義対個人サービス活動指数は、前月比12.3%の上昇。広義非選択的個人向けサービス、広義し好的個人向けサービスともに上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



広義対事業所サービス、し好的個人向けサービスを大きく動かした個別系列

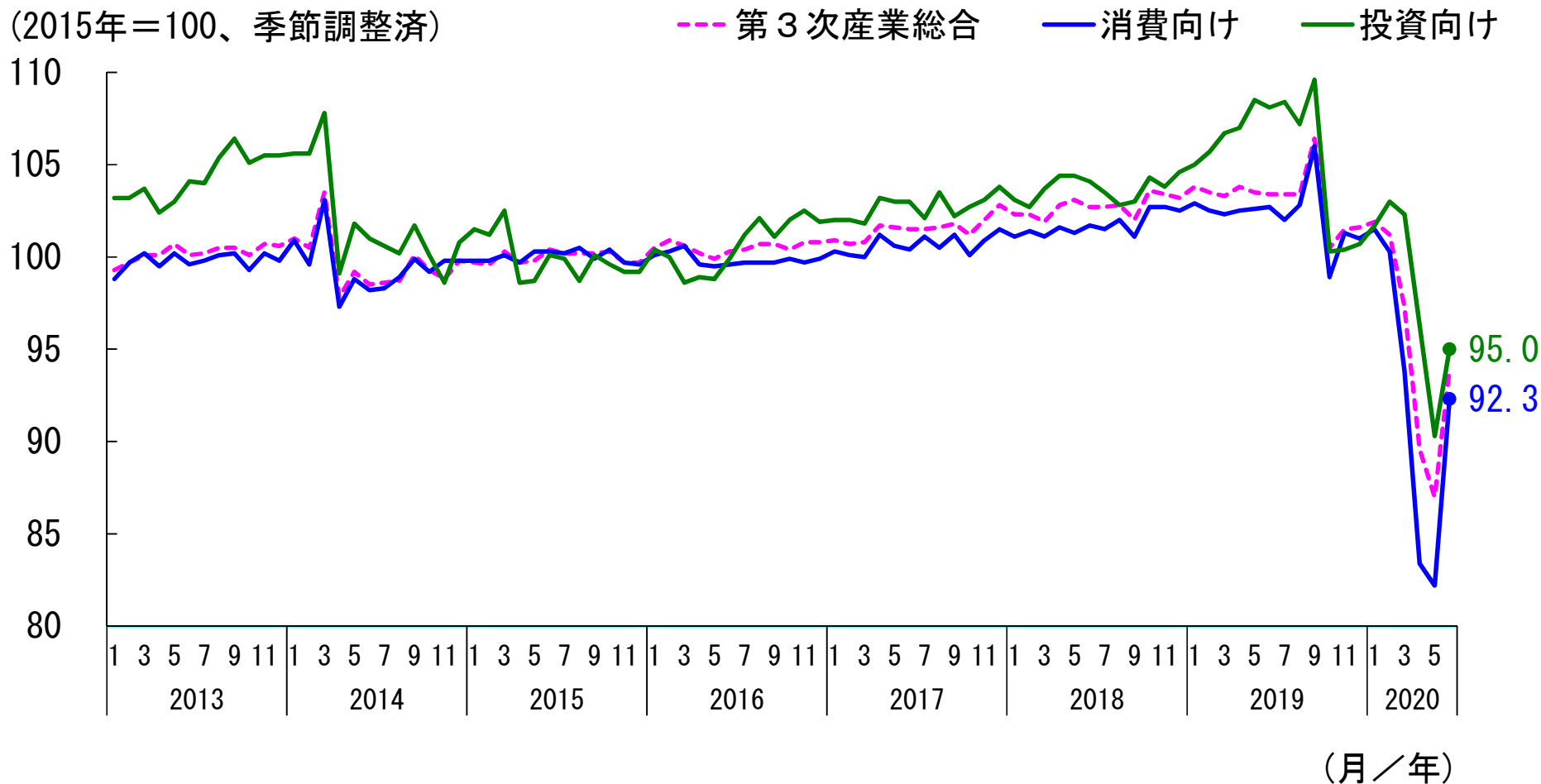
	業種名	前月比
○ 広義対事業所サービスを 上昇 方向へ 引っ張った業種の中で 上昇への影響度が大きい内訳業種	その他の情報処理・提供サービス業	12.0%
	医薬品・化粧品等卸売業	9.1%
	産業機械器具卸売業	10.6%
	電気機械器具卸売業	6.4%
	機械修理業	9.9%
○ 広義対事業所サービスを 低下 方向へ 引っ張った業種の中で 低下への影響度が大きい内訳業種	一般貨物自動車運送業	- 1.0%
	ビデオ制作・配給業	- 36.7%
	貸事務所業	- 0.4%
	テレビ番組制作・配給業	- 4.0%
	化学製品卸売業	- 1.1%

	業種名	前月比
○ し好的個人向けサービスを 上昇 方向へ 引っ張った業種の中で 上昇への影響度が大きい内訳業種	食堂, レストラン, 専門店	57.8%
	パチンコホール	218.2%
	織物・衣服・身の回り品小売業	51.1%
	自動車小売業	21.3%
	機械器具小売業	29.0%
○ し好的個人向けサービスを 低下 方向へ 引っ張った業種の中で 低下への影響度が大きい内訳業種	音楽・芸術等興行	- 27.5%
	自動車整備業(家庭用車両)	- 3.9%
	ペット・クリニック	- 8.3%
	消費者金融業務(クレジットカード業)	- 11.9%
	理容業	- 4.0%

消費向け／投資向けサービス活動指数の動向

- ・ 2020年6月の消費向けサービス活動指数は、92.3(前月比12.3%)と5か月ぶりの上昇。
- ・ 投資向けサービス活動指数は、95.0(前月比5.2%)と4か月ぶりの上昇。

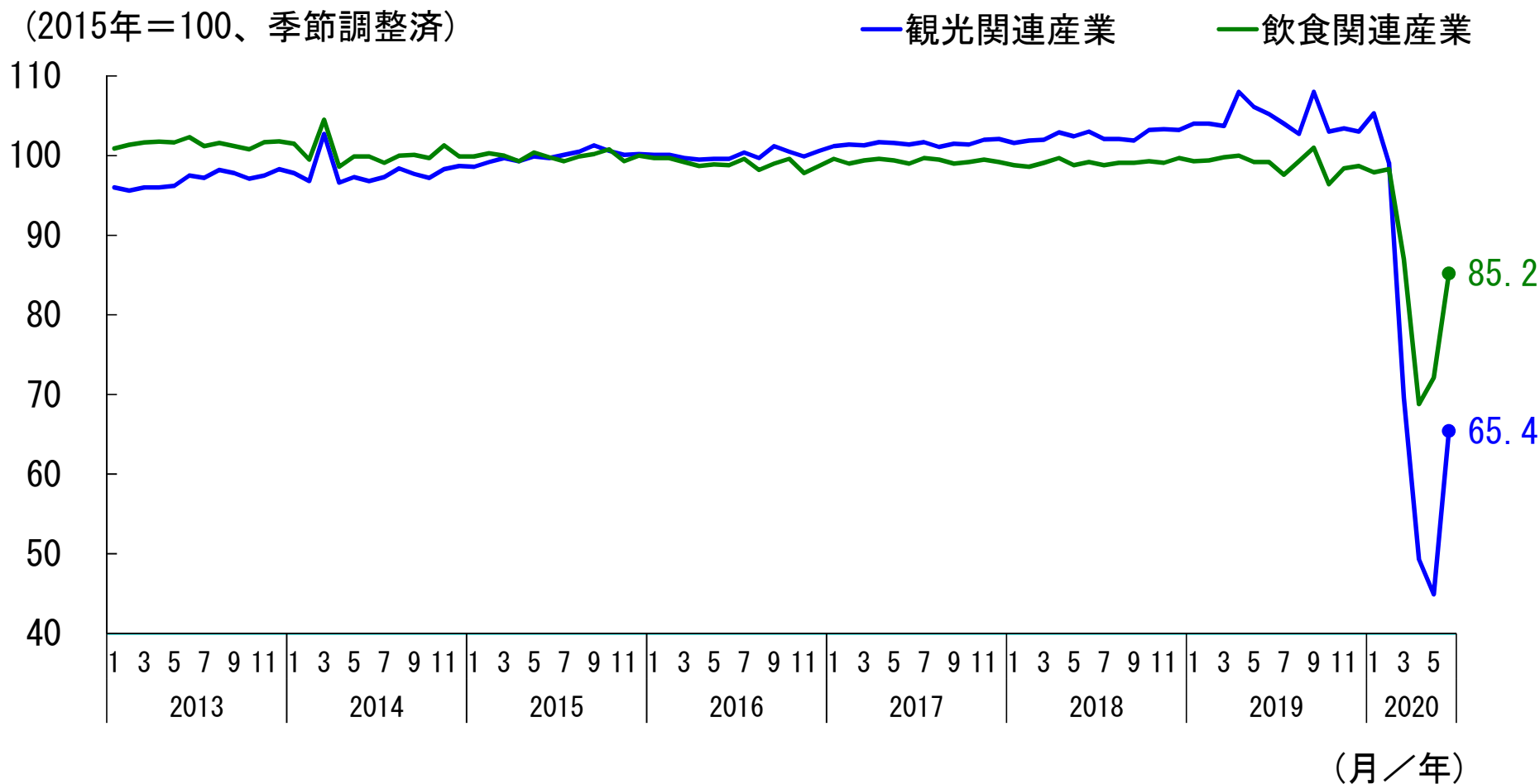
(2015年=100、季節調整済)



(注)消費向けサービス活動指数(=広義対個人サービス活動指数)は、個人消費関連のサービス(小売業や娯楽業など)の動きを表す系列。
投資向けサービス活動指数は、民間企業設備関連のサービス(ソフトウェア開発、機械器具卸売業など)の動きを表す系列。

観光関連産業活動指数、飲食関連産業活動指数の動向

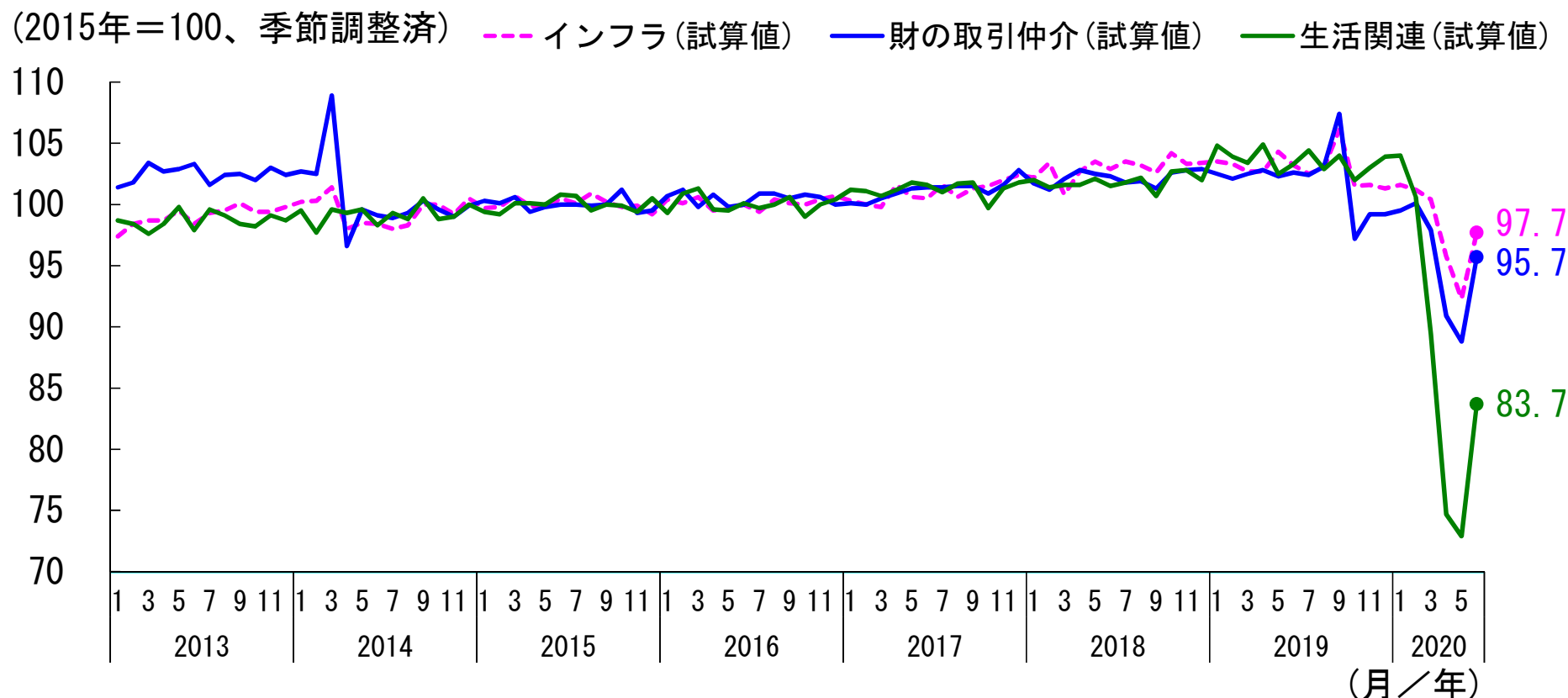
- ・ 2020年6月の観光関連産業活動指数は、65.4(前月比45.7%)と5か月ぶりの上昇。
- ・ 飲食関連産業活動指数は、85.2(前月比18.2%)と2か月連続の上昇。



(注) 観光関連産業活動指数は、鉄道、バス、タクシー、飛行機、船舶等の旅客運送業、道路施設提供業(高速道路)、旅館、ホテル等の宿泊業、旅行業、遊園地・テーマパークが含まれる。
 飲食関連産業活動指数は、デパート等の各種商品小売業(飲食料品部門)、飲食料品小売業、食堂、レストランやファーストフード等の飲食店、飲食サービス業が含まれる参考値。

形態別にみたサービス活動指数の動向

- ・ 2020年6月のインフラ型サービス活動指数(試算値)は、97.7(前月比5.9%)と5か月ぶりの上昇。
- ・ 財の取引仲介型サービス活動指数(試算値)は、95.7(前月比7.8%)と4か月ぶりの上昇。
- ・ 生活関連型サービス活動指数(試算値)は、83.7(前月比14.8%)と5か月ぶりの上昇。



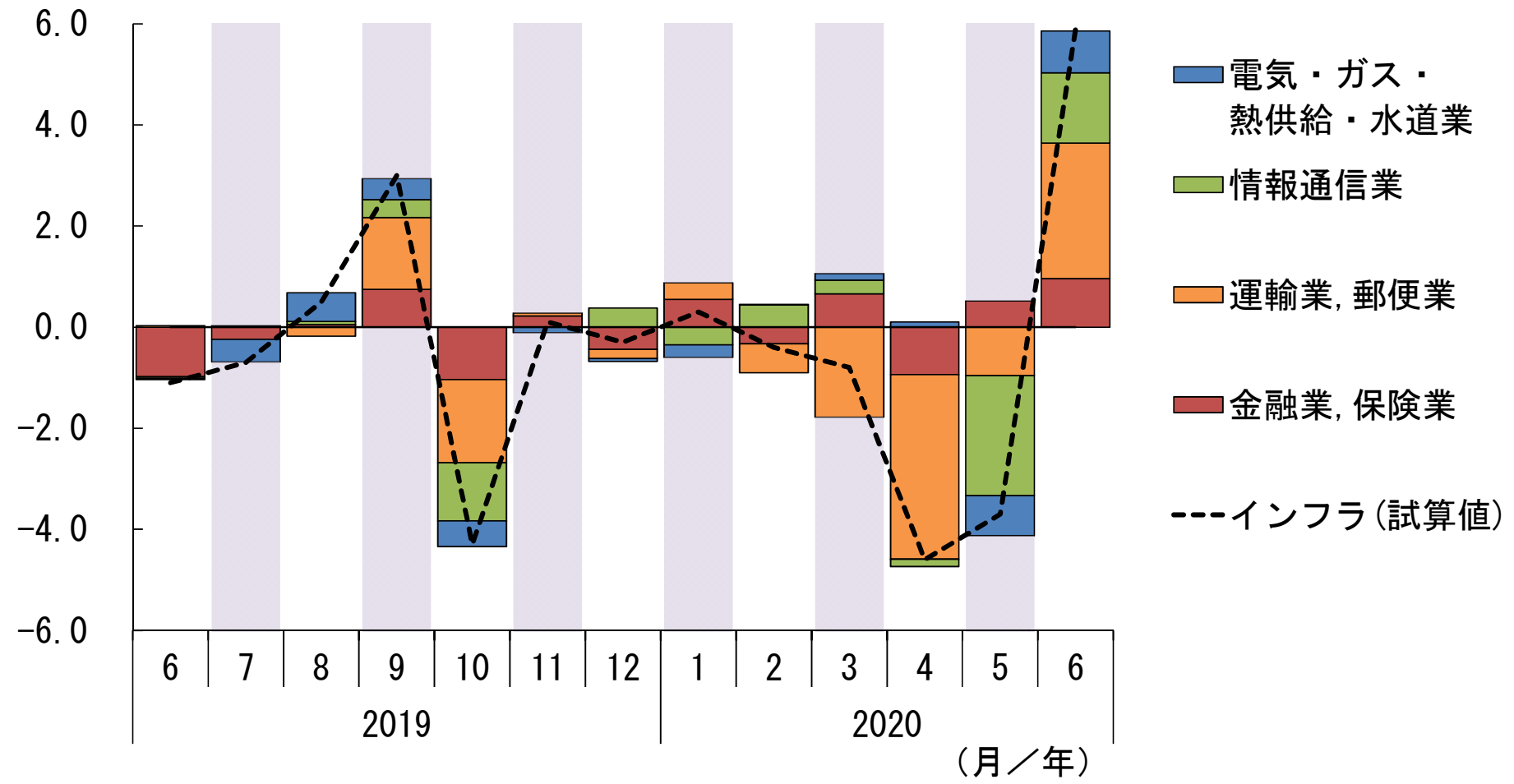
(注) インフラ型サービス活動指数、財の取引仲介型サービス活動指数、生活関連型サービス活動指数は、それぞれ下記大分類業種の季節調整済指数を各ウェイトで加重平均して算出した試算値。なお、第3次産業活動指数の11ある大分類業種のうち「事業者向け関連サービス」は、この3つの試算値には含めていない。

- ・ インフラ型サービス活動指数：電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、郵便業、金融業、保険業
- ・ 財の取引仲介型サービス活動指数：卸売業、物品賃貸業(自転車賃貸業を含む)、小売業、不動産業
- ・ 生活関連型サービス活動指数：医療、福祉、生活娯楽関連サービス

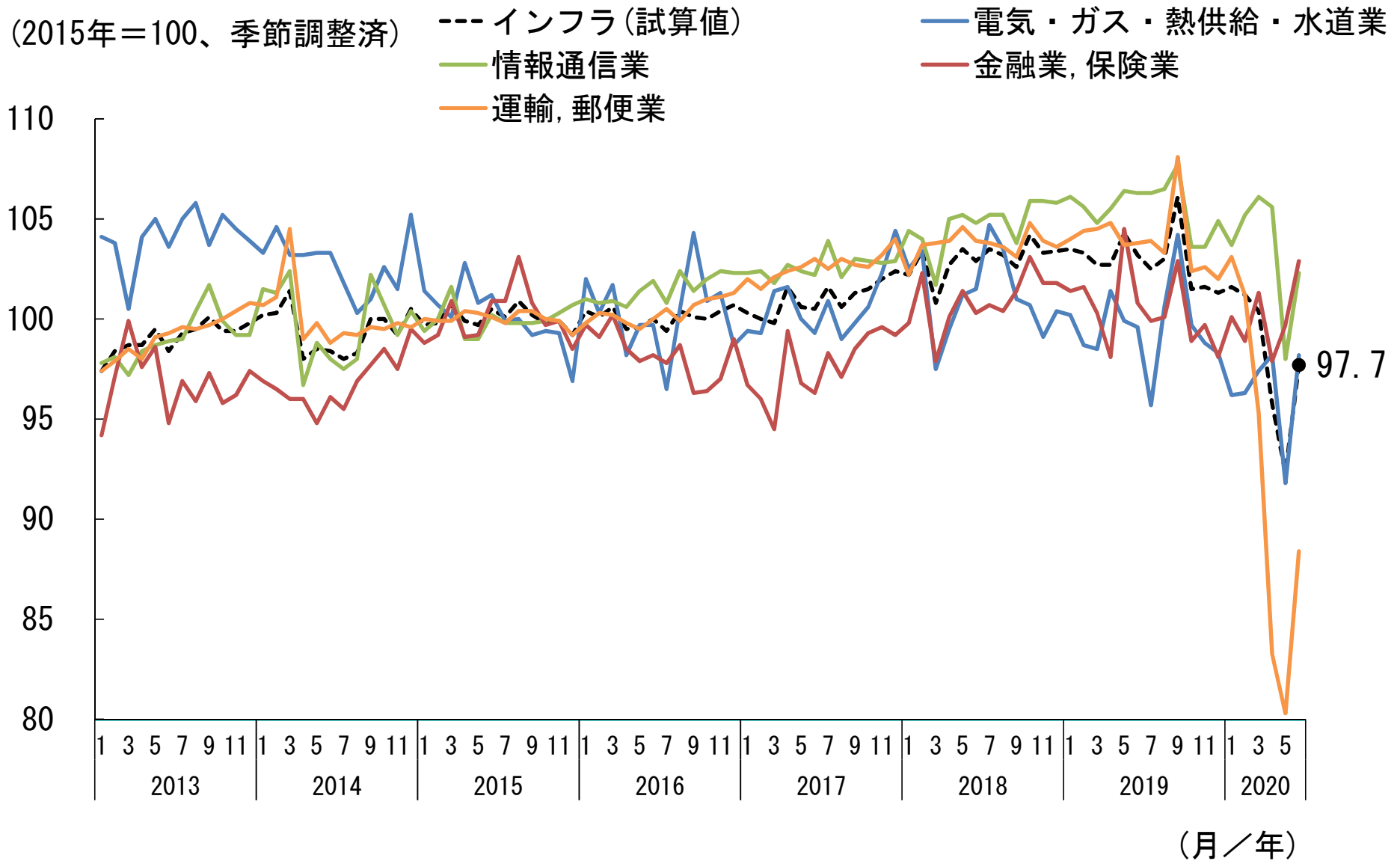
インフラ型サービス活動指数(試算値) 業種別の影響度合い

・2020年6月のインフラ型サービス活動指数(試算値)は、運輸業、郵便業などが上昇したため、前月比5.9%の上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



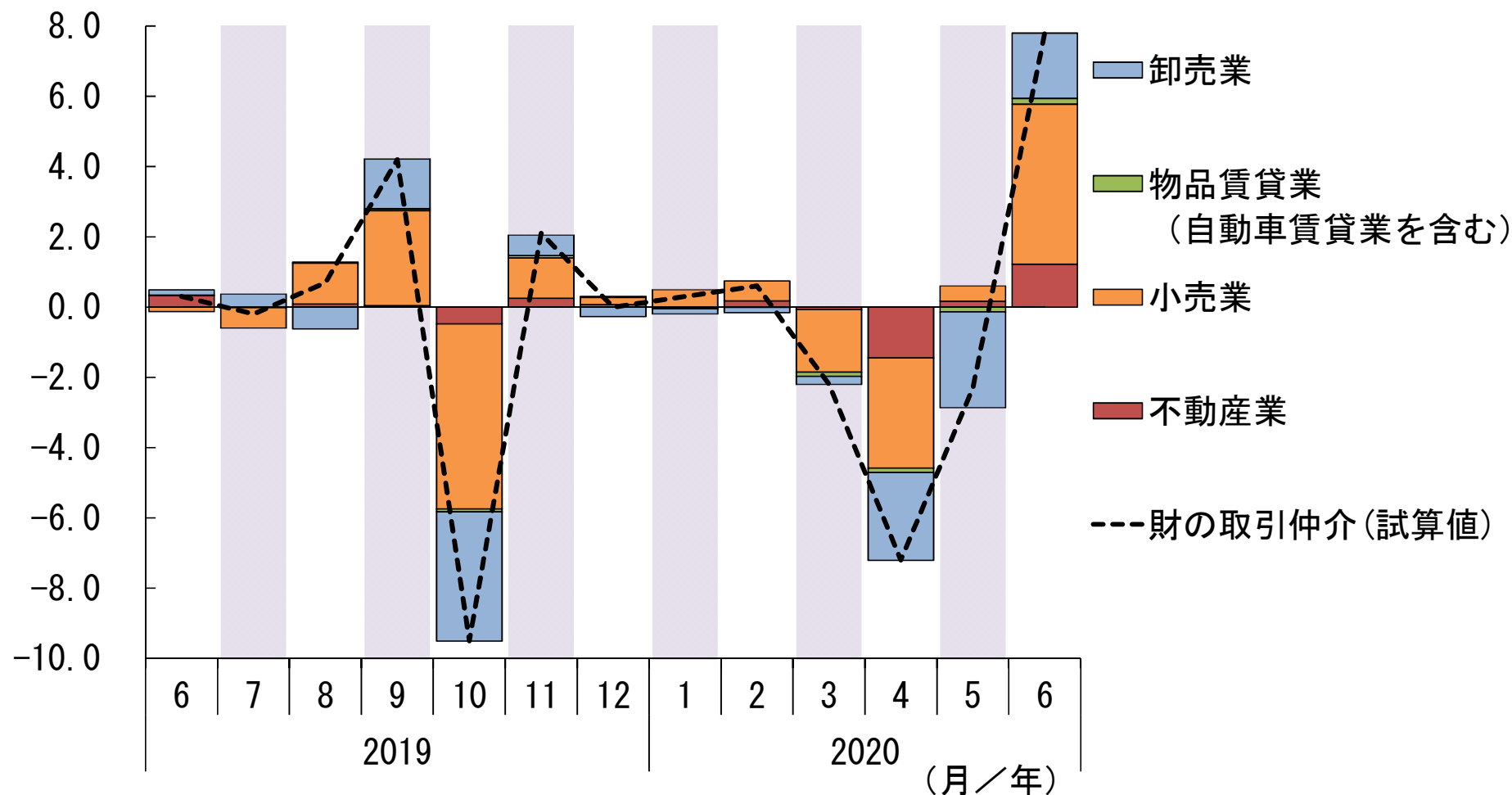
業種別に見たインフラ型サービス活動の動向



財の取引仲介型サービス活動指数(試算値) 業種別の影響度合い

・2020年6月の財の取引仲介型サービス活動指数(試算値)は、小売業などが上昇したため、前月比7.8%の上昇。

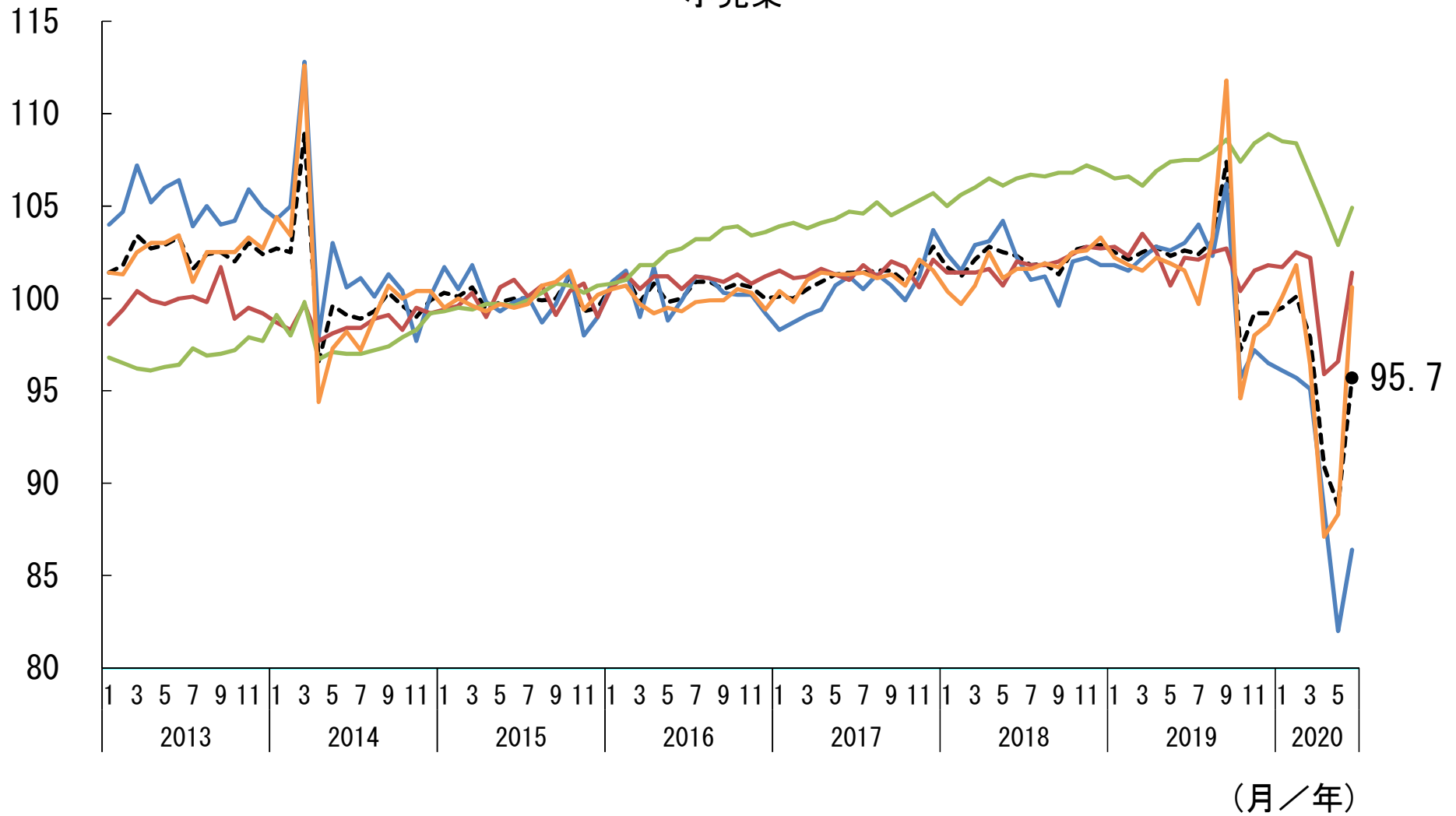
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



業種別にみた財の取引仲介型サービス活動の動向

(2015年=100、季節調整済)

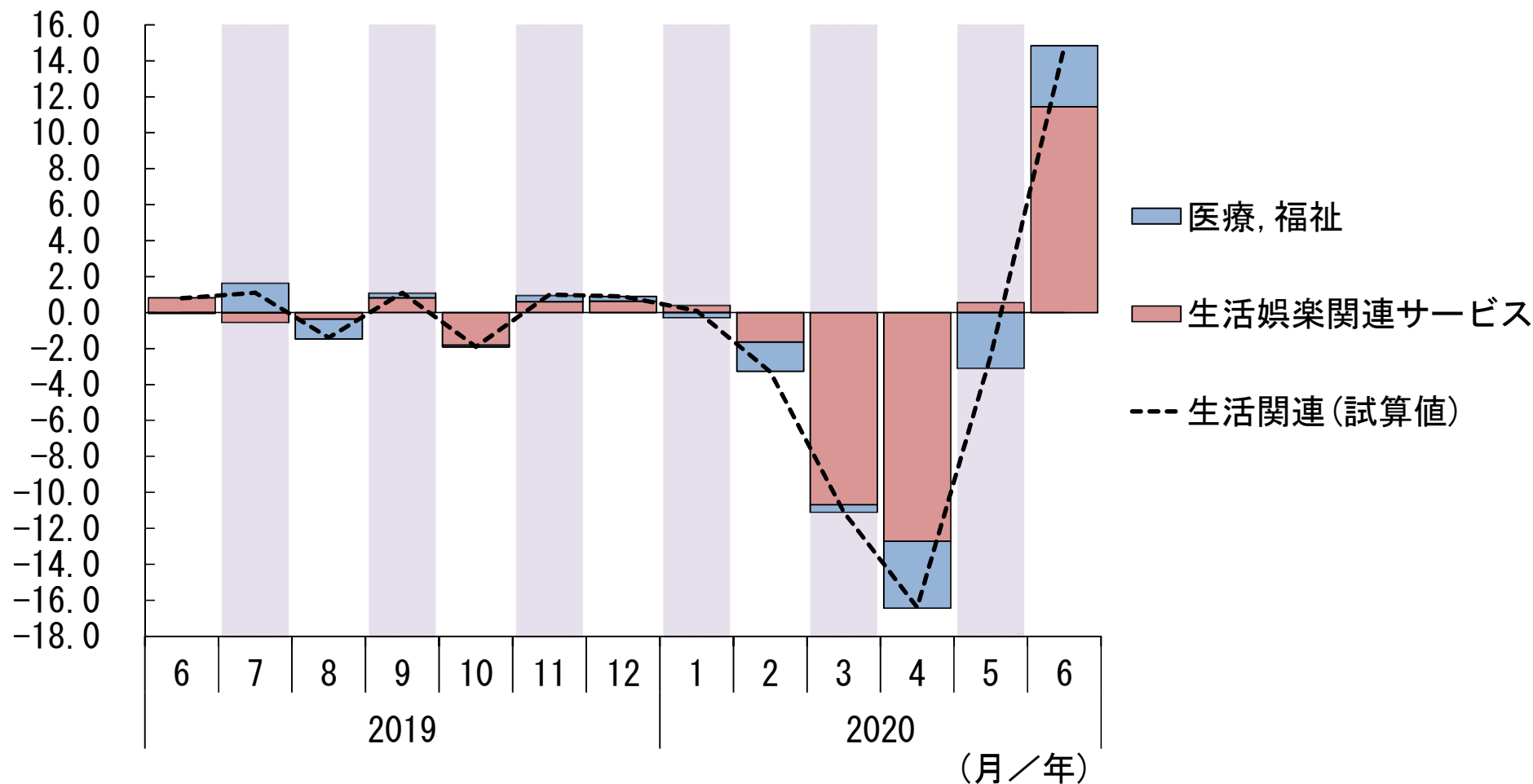
--- 財の取引仲介(試算値) 卸売業
 不動産業 物品賃貸業
 小売業



生活関連型サービス活動指数(試算値) 業種別の影響度合い

・2020年6月の生活関連型サービス活動指数(試算値)は、前月比14.8%の上昇。医療、福祉、生活娯楽関連サービスともに上昇。

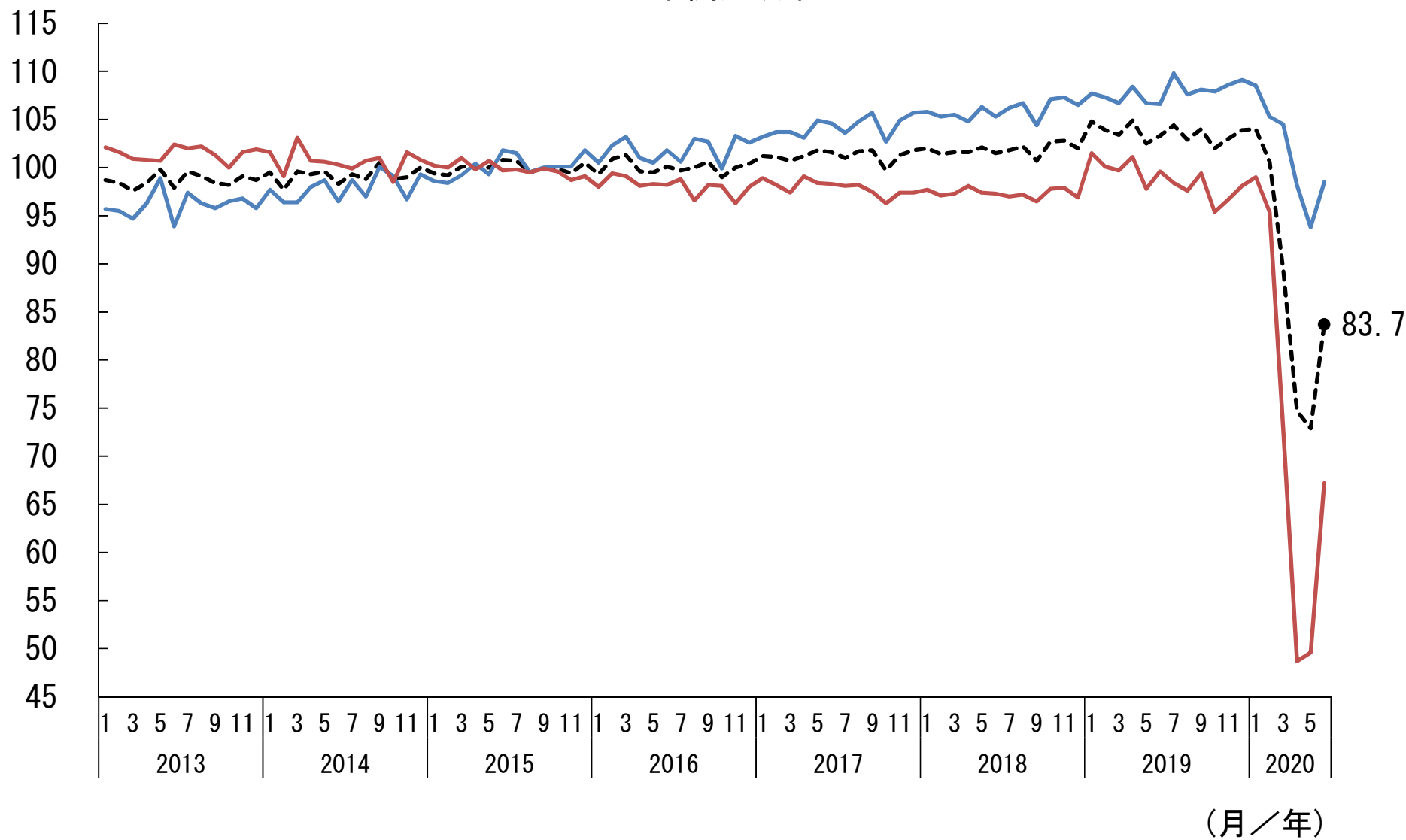
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



業種別にみた生活関連型サービス活動の動向

(2015年=100、季節調整済)

--- 生活関連(試算値) — 医療, 福祉
— 生活関連娯楽サービス



2020年4～6月期の第3次産業活動指数の状況

四半期	第3次産業総合	広義対個人サービス	広義対事業所サービス
季調済指数	90.2	86.0	93.9
前期比	-9.9%	-12.7%	-7.8%
指数水準	2015年基準最低水準	2015年基準最低水準	2015年基準最低水準
	①2020Ⅱ 90.2 ②2014Ⅱ 98.5 ③2014Ⅲ 99.1	①2020Ⅱ 86.0 ②2014Ⅱ 98.1 ③2020Ⅰ 98.5	①2020Ⅱ 93.9 ②2014Ⅱ 98.3 ③2014Ⅲ 98.8
前期比の動き	3期連続— (2019Ⅳ～当期)	3期連続— (2019Ⅳ～当期)	2期ぶり— (2019Ⅳ以来)
前期比幅	2015年基準最低水準	2015年基準最低水準	2015年基準最低水準
	①2020Ⅱ -9.9% ②2014Ⅱ, -3.1% 2019Ⅳ ③2020Ⅰ -1.1%	①2020Ⅱ -12.7% ②2014Ⅱ, -3.1% 2019Ⅳ ③2020Ⅰ -1.9%	①2020Ⅱ -7.8% ②2014Ⅱ -4.2% ③2019Ⅳ -4.1%
原指数	88.2	84.8	91.4
前年同期比	-12.9%	-16.2%	-9.8%
前年同期比の動き	3期連続— (2019Ⅳ～当期)	3期連続— (2019Ⅳ～当期)	3期連続— (2019Ⅳ～当期)
前年同期比幅	2015年基準最低水準	2015年基準最低水準	2015年基準最低水準
	①2020Ⅱ -12.9% ②2020Ⅰ -2.8% ③2019Ⅳ -2.4%	①2020Ⅱ -16.2% ②2020Ⅰ -3.4% ③2019Ⅳ -2.2%	①2020Ⅱ -9.8% ②2019Ⅳ -2.4% ③2014Ⅱ, -2.2% 2020Ⅰ

1) I～Ⅲは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

第3次産業活動指数前期比 業種別の影響度合い

・2020年4-6月期の第3次産業活動指数は、金融業、保険業が上昇したものの、生活娯楽関連サービスなどが低下したため、前期比-9.9%の低下。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)

